

新潟無機メンテナンス研究会 第二回勉強会報告書

1. 積算価格について

・前回の見直しと再検討

工法価格表について

- ・ 項目の了承等を頂きました。
- ・ 断面修復の左官・吹付両工法について、施工基準 m^2 数を 100 m^2 から 1 m^2 に変更。
- ・ 全般的に単位欄を各工法の施工基準単位に合わせる事となりました。

ダクト工法代価表の再検討

- ・ 前回頂いた提言により目地工の代価表を追加、また発電機の規模を訂正。
- ・ これらの表は 1m×1m のダクト版を想定した代価表であり、特殊形状は割り増しという前提で単価が設定されています。
- ・ 水平・鉛直設置両表の小運搬項目に関して、2 t ユニックは運搬車両としてメジャーでないとの指摘がありましたので、4 t ユニックに訂正となりました。これに伴い燃料項目も単価が変更となります。
- ・ 鉛直設置における目地の施工に関しては、塗ってから積み上げるという捉え方であり、注入時の目留めも兼ねる物としています。
- ・ 物価調査会によるダクトの価格カットの可能性に関しては、予め 5 % 上乗せして対応するという事で承認されました。(10%カットの可能性も考えられるが 4 万円台をキープする為 5 % 想定で対応)
- ・ 目地工代価表に関して、通常目地工の印象では代価に見合わない簡単な仕事というイメージが付いてしまうとの指摘がありましたので、シール工へ表題変更になりました。以後はこの表題が使われます。

その他の代価表についての再検討

- ・ リフリート工法断面修復の代価表は、前回の提言により錆落としが鉄筋爆裂部処理の一項目として組み込まれました。また運転単価表における発電機の長期割引は全て無しの扱いに訂正されました。
- ・ 充填工法断面修復の代価表は、備考として「型枠代は含まない」という項目が追加されました。
- ・ 水路断面修復（鍍塗り・吹き付け）の代価表は、高圧洗浄に関して、岩盤清掃とは異なり住宅に隣接した現場での施工を想定したものとして、単価が設定されています。また水のゼネコン支給を前提として作成された代価

表でしたが、不適切だとの指摘がありましたので、水代を諸雑費に含む方向で訂正となりました。

- ・ 諸雑費の丸めに関して、労務費のパーセンテージの端数に丸めの値を足して諸雑費とする」のは不適切だという指摘がありましたので、全代価表を通して「労務費のパーセンテージを一つ上げ、端数を切り捨てて均す」という方法に訂正されました。
- ・ 一部の代価表でモルタルミキサーの仕様が実情に即していないとの指摘があり、仕様を訂正。それに伴って発電機の規模も訂正となりました。
- ・ 前回の提言により各代価表で油脂等の項目の再構成が行われました。
- ・ 水路の目地修復の代価表が存在しないのは何故か？という指摘があり、メーカーから「テーブルに上がる単価ではないので割愛した」との解答がありました。取扱項目として存在するだけでもPRの一端となるとの提言があったので、追って作成される予定です。

※各代価表の内容については別紙をご参照下さい。

2. その他

・営業、受注、協力について

－(株)いりやまと 加藤－

現在、実績表には県内で手掛けた現場と仕様工法が記されているが、県外の現場も含め実績を増やしていきたい。

また発注者の名前もあつた方がより有益だと思われるので、後程追加する予定である。

今後の営業先としては加治川水系、大庄屋江頭首工、魚沼市内用水路等での発注が見込まれるので、そちらを中心にPRしていきたいと思う。

市役所、コンサル等へのPRが不可欠であるので、会員各位には是非とも協力をお願いしたい。

先日、ゼネコンへカタログを持っていった所、色々PRするようにとのお話を頂いたので、こちらも機会がある毎にPRしていかなければならないだろう。

現在、当会の材料の中心は無機系のものではありますが、クラック注入資材等も取扱項目として追加し、材料方面での広がりも持たせていきたいと思っております。

・次回の勉強会について

7月中旬を予定しており、材料・施工の管理が主な議題です。